

光赤天連データアーカイブWG

2021年9月15日光赤天連総会
世話人代表：古澤 久徳

- 提言書：
<https://drive.google.com/drive/folders/11kbYfGbFciqLD0XengcNFHcqE8zeU91j?usp=sharing>
- 光赤天連シンポジウムでの説明資料：<http://gopira.jp/sym2021/5-1-Furusawa.pdf>
- 光赤天連の賛同を受ける形で2020年9月から22名のメンバーで活動を始め、データアーカイブへの需要・期待が高まる中、日本の天文データアーカイブのより有効で安定的な運用を目指し、光赤天連の声明とするべく天文コミュニティとその関連機関に対する提言をまとめた。
- 日本の主だった望遠鏡・装置計画、ハワイ観測の科学運用メンバーと意見交換を行いながら議論を深めた
- 2021年9月5日に提言書ドラフトをGopiraに回覧し意見を募り、同年9月9日の光赤天連シンポジウムにて参加者と提言書のドラフトに対する意見交換・議論を行った。その場の予備投票により、議論の内容を踏まえた改訂を前提に提言書の内容に大多数の賛成を得た。
- 2021年9月10日にシンポジウムの議論を受けて改訂した提言書を回覧し、その後も9月14日までに得られたコミュニティからの意見を考慮し改訂を続け、最終版をまとめた
 - データアーカイブ運用者のために他関係者が協力する、のではなく装置チームなど含めて三者が協力してそれぞれの負荷を下げることに注意したい意見があり、提案の趣旨もその通りである。
- 本日、提言書を声明として採択していただくための決議をお願いしたい
- 提言を声明としていただけた場合は、それをもって今後のデータアーカイブ運用の指針とし、各機関・委員会等での計画立案・説明の根拠としていく